

煽動ビラ撒布の 主謀者標舉

西尾友愛會主事發案で

印刷工組合員が印刷した

本日起訴收監さるべし

藤永田労働争議が紛糾に紛糾し、
を垂ねてゐる矢先大阪工所に
大體各發意所等工場（立坂）
を失つた藤永田の職工に對し
同職工をすべしなる

印刷工組 合 印刷所
で安藝盛、東久慈等が印刷
したものを判別したが労働問題
の矢發しに昨今綿密に取調問
べの上起訴さるべしであらうと

煽動ビラを配附し

たるものあり時節柄重慶容易
ならざるし直に友愛會幹部以
下十餘名を検束し昨本部朝日
欄を徹密に取調べてみたが
十日午後三時小西刑争後長は
大阪地方裁判所光行

檢事の下に出張し

何れか打合せを遂げ歸着した
が更に池田捜査係長野若長
等を協議の結果を發表したが
件の直傳ビラは全く友愛會主
事西尾未發案にかゝるもの
を其後南風直美須町

過激な檄文は「吾々刊太を」

誰の手で作られたか

友愛會の幹部

悉く取調を受く

大阪府警部捜査課に於ては去る
八月末大阪工所を初め汽車會
社、住友三工場、大塚電機、電
柱尾、小針組等各發意所へ不慮の
文字を通じ「藤永田の職工に同情
職業せよ」と印刷した檄文數紙以
て激化した。然しつき九日朝來徳
に活動を開始し田口陣長、地
田、武田、清水の三部を結め陣
事課員十餘名出動朝日欄若に本部
を置き労働者の大體攻撃を行ひ住
吉、友愛會幹部百餘名及び朝日
探本當所其他數名召喚取調中
である事は所報の如くであるが檄
文の手は更に友愛會幹部に伸び同
部大體友愛會主事長高橋吉を既
成部警法町東區藤永田工場から
朝日欄若に引致し十日午前一時
名の形事友愛會發意所に付き藤永
田造船所の争議に關し折柄取調中

雙方共頑張る

職工の結束が固いので

會社側は稍閉口の體

睨み合ひの藤永田造船の争議

大阪藤永田造船所が三日間の臨時
休業を發表してから今日は二日
である。此間會社側でも職工側で
も最早や交渉の餘地がないと見切
をつけて雙方非妥み許らざるもせ
ず睨み合つてゐるがその會社側
では期限の迫ましい海軍省の注文
を抱へてゐる上に休業中の損害も
随分大きいので大朝りの體である
一方職工側の結核はよく強く
會社側が事勢するまゝとはいつた
でも何時までも持久して突つ取り
過ぎざるつもりであるとい、現に職
工側では休日朝日欄若から四區三軒
家上の町朝日欄若を市内職工の
事務所に先づ、ある外更に十日朝
郡部職工のため原簿集玉出の金剛

寺に開募新所を假けて機運轉の
誓約を向う人がための出動費を備
付けて出勤者に一々掛向まざる外友
愛會の手で會社側から通知状を共
に受取つた就業申込書の裏紙にか
つてゐる
十日午後二時現在では朝日欄若部
で申込簿九百冊、出動印百五十
名、金剛寺では申込簿三百冊、採
印六百、双方合せて申込簿集高
千百冊、朝印七百五十名といふ多
數を示してゐる職工側では「全く
決定通りだ」と樂觀の體に見ゆる
又會社側で十日午前八時若る午後
一時迄に取調つた就業申込書はマ
ツタ十二通、九日の分を加へて三
十餘通に過ぎない